

(平成 30 年 7 月試験研究業務月報)

試験研究課題：緩効性肥料を用いた加工用九条ねぎの省力施肥技術の確立

研 究

加工用九条ねぎ 1 回目の収穫を実施

丹後地域の開発農地では、ダイコン、キャベツ等、漬物やカット野菜などの原料となる加工用野菜の産地化が進められています。近年、需要が増加している加工用九条ねぎ（業務用カットネギ）は、平成 28 年から新たな品目として導入され、地上部だけ刈り取ることで、多数回収穫する栽培を行っています。

当センターでは、5 月に苗を定植し、12 月中旬の降雪までに 3 回の収穫を可能にするため、マルチ栽培で定植時にのみ緩効性肥料を施す栽培試験を行っています。

7 月 3 日～10 日に 1 回目の収穫を行ったところ、収穫適期は肥料の種類では差がなく、施肥量が多いと 3～7 日早まることがわかりました。

今後は、降雪までのあと 2 回の収穫可否や収量と施肥量の関係を調査し、最適な加工用九条ねぎの栽培方法を確立します。



加工用九条ねぎを収穫（7 月 10 日）

農 林 セ ン タ ー （ 丹 後 農 業 研 究 所 ）